

かながわ

創刊号 平成25年12月 1日発行

発行人 吉田 秀志

発行所 一般財団法人 神奈川陸上競技協会

〒231-0012

横浜市中区相生町1-8 光南ビル5F-B

TEL 045-210-9660 FAX 045-210-9667

HP <http://www.kanagawariku.org/>

印刷所 株式会社Yuki Print

- ・ 神奈川陸上競技協会会報の創刊
- ・ 神奈川陸上競技協会の一般財団法人化



広報誌の発刊にあたって

会長 河野 太郎

一般財団法人神奈川陸上競技協会は、このほど協会の広報活動の一環として、新たに広報誌を発刊することにいたしました。

すでにみなさまご存じの通り、神奈川陸上競技協会は、日本陸上競技連盟の方針に従い、新たに一般財団法人という法人格を持って活動を始めました。

自ら定めた定款に則り、郡市の協会のみなさまと協同して、神奈川県の上陸競技の発展のために、自律した活動を行っていくことになります。神奈川県は、日産スタジアムや等々力競技場、BMWスタジアム、城山競技場をはじめとする本格的な陸上競技場に恵まれ、神奈川陸協もゴールデングランプリのような世界的な競技会や日本選手権からジュニアオリンピック、小学生の全国大会である日清カップなど幅広い種類、レベルの大会を主管して参りました。おかげさまで、神奈川県における大会の運営や審判の技術は、日本のトップレベルにあると評価されています。効率的かつ正確に競技が運営されるだけでなく、ビジョンや放送を有効に使って、選手のみならず来場者にも情報を伝達する技術を磨き、楽しんでいただける試合を行えるようになってきました。

また、昨年の全国女子駅伝の皇后杯獲得にみられるように、神奈川県の競技レベルも日頃の熱心な指導が花開き、全国はおろか世界レベルの選手を輩出するようになって参りました。ぜひ、来る東京オリンピックに神奈川から大勢の選手が参加するようになってほしいと思います。

神奈川陸上競技協会として、その活動の中で、いかに協会の情報を迅速かつ速やかに、そしてわかりやすくタイムリーに、伝えることができるかということが、大きな課題になっています。これまでもホームページを開設し、インターネットを利用しての情報伝達なども行ってまいりましたが、やはり、紙を利用した、手にとって読める広報誌の必要性がこれまでも指摘されておりました。常任理事会などでの議論を経て、今日、ここにこうして創刊号が誕生いたしました。

どうぞ、この広報誌が神奈川の陸上競技に携わるみなさまにとって、重要な広報媒体として利用されていくことを願いつつ、発刊のご挨拶といたします。



専務理事に就任して

専務理事 吉田 秀志

神奈川陸上競技協会専務理事就任にあたって一言ご挨拶を申し上げます。芳賀学人元理事長、橘川眞佐志前理事長の輝かしい功績を引き継ぎながら、微力ながら新たな課題に向かって努力していく所存です。

今後の取り組みについて述べさせていただきます。本協会は、平成25年4月1日付けで一般財団法人として新たにスタート致しました。法人化にあたり本県陸上競技の更なる普及振興を図るため、公益性と社会性を求められる本協会が、その実効性を確保し、意識の啓発と適切な対応を図る体制を整備するために倫理委員会の設置等に向けた策定委員会を立ち上げます。策定委員会において「倫理規程の整備」「倫理委員会の設置」「不祥事予防のための意識啓発活動等の実施」「不祥事発生後の処理」について検討し、原案を策定いたします。平成26年3月の理事会及び評議員会に上程し、4月から施行する予定ですので宜しくお願い致します。

本協会は、毎年各種の競技会を主催・主管しております。ジュニアクラブ（小学生）の記録会からゴールデングランプリ・女子マラソンの国際大会等々、様々な年齢層や競技レベルの競技者を対象に競技運営をしております。

（次項へ続く）

このような競技者の年齢や競技レベルの様々な状況に対応できる大会運営を目指しています。そのためには高い資質の審判員の養成が急務の課題となります。平成 24 年度の本県審判員登録数は 1752 名で全国一となっており、数字的には恵まれた状況であります。しかしながら、協力していただける年齢層に偏りがあり、若年層の審判員の協力が得にくい実態もあります。このような状況を踏まえ、3 月当初に実施する次年度競技会への参加調査方法の工夫や、審判講習会の内容を従来の伝達講習方式を改め、審判員の審判技術の向上に向けより実践的な内容に改革していきます。

本県陸上競技の普及振興を目指すためには、競技力の向上とジュニア競技者の普及育成が一体となって展開されなければなりません。普及部を中心にジュニアクラブの県内各地域へ設立への働きかけ、年齢に応じた育成プログラムの策定と実践等に取り組んでいきたいと思います。国体、全国都道府県駅伝の成績は県民が最も関心を寄せる大会です。今年は、全国都道府県女子駅伝において 26 年ぶりに皇后盃を獲得致しました。強化部を中心に永年にわたり中体連・高体連・大学・実業団が一体となって連携し、強化した成果であります。今後は、ジュニアクラブ（小学生）もこの連携体制に組み込み、普及から強化へと一貫した体制を構築して行く所存です。

最後に、歴代の諸先輩の方々が築き上げてこられたことを尊重し、情熱と使命感そして先見性をもって神奈川の陸上界をさらに活性化させ発展させるために尽力していく所存です。皆様のご指導、ご協力をお願いして就任の挨拶とさせていただきます。



一般財団法人化について

副会長 橘川 眞佐志

平成 20 年 12 月に施行された「一般財団法人および一般財団法人に関する法律」により、日本陸上競技連盟より「都道府県陸協法人化」の方針が決定された。本県もそれを受け、平成 25 年度法人化に向けて「財団法人化に向けた検討委員会」を発足させ検討に入った。検討委員は、理事長、副理事長、財務委員長、財務委員会部員（1 名）、理事（1 名）、代表委員（1 名）、学識経験者（1 名）の 7 名により構成した。

なぜ、今一般財団法人化が求められるかという点では

- ① 今まで以上に透明性を持った基本財産の維持管理及び運用財産の管理運用が可能になる。
- ② 業務機関である理事や理事会、職務執行を監査する監事の他、法人事項の決定や理事・監事の選任・解任機関である評議員会の設置が義務付けられ、より厳格な運営が求められる。
- ③ 法人化することにより活動内容を色々な手段で広報する使命が生じ、より一層社会の認知を受けることが可能になる。
- ④ これらにより社会的信用が増し、県陸協の目的達成のための活動の幅が広がり、より安定した協会運営が可能になる。

という趣旨を確認した。

定款は総則・目的及び事業・財産及び会計・評議員及び評議員会・理事及び監事並びに理事会・定款の変更及び解散・専門委員会及び特別委員会・事務局・公告の方法・顧問及び参与・附則等の項目より成り立つこととし、今までの規約との違いがどれほどあるか確認した結果、規約を基本としそれに肉付けしていくこととし会議を進めた。日本陸連の指導や既に法人化した他都道府県陸協の定款を収集し検討材料とした。

定款の多くの内容は今までの規約に網羅されており、大きな変更点は認められず、主な内容を定款に移行することとした。

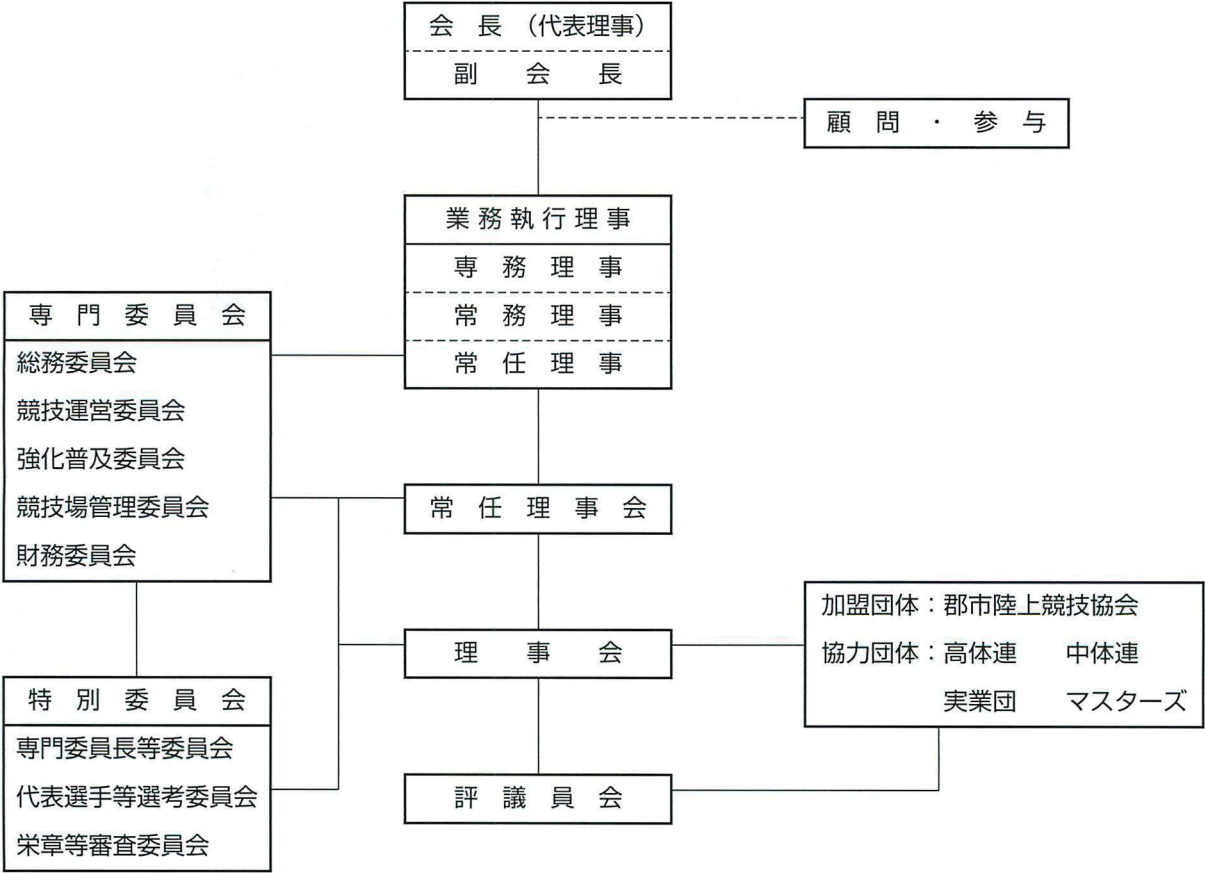
その中で理事会、評議員会の定数等、直接都市陸協にかかわる事項について検討した。なぜならば、本県の組織構成が他県と異なる点があるので、それをどうするか検討し、その結果、維持することとし理事、評議員の定数を決めた。その他、定年制も導入した。

検討委員会は事前の資料を読み込んでから行われ、検討を重ね成案を作成し、平成 24 年 12 月の代表委員会において定款が承認された。1 月までに評議員・理事の選出、2 月に都市陸協以外の理事の選出を行い、設立時の各委員が確定し、4 月 1 日に登記を行い受理された。

平成 25 年 4 月に法人として認可された本陸協は、定款に盛られた事項に沿って運営していく事になるわけだが、

- ① 活動内容を広く一般の方々に理解していただくため、ホームページの充実、機関誌の発行、大会開催の広報、その他あらゆる場面を利用した活動の充実が求められる。
- ② 各大会で優秀な成績を収められる強化及び各年代を一本の柱とした強化・育成の充実。特に、ジュニア世代については親を巻き込んだ取り組みの充実。
- ③ 更なる財産管理の徹底と透明性をはかる。など今後一層充実した活動が求められる。

神奈川陸協の組織図



平成25年・26年度 役員

顧問	長谷川謙治	藤木 幸夫	荒木 敏夫	内野 慎吾		
参与	関口誠三郎	西島 一光	譲原 脩二	相原 洋	井上 壮	
会長	河野 太郎					
副会長	芳賀 学人	橘川眞佐志				
専務理事	吉田 秀志					
常務理事	金澤 健敏					
常任理事	吉田 秀志	金澤 健敏	平本 徹	木村 新一	松尾 正弘	小澤 清治
	前田憲一郎	瀧川 一輝	鍵和田 実	粕山 弘一	藤宮 学	
監事	高橋 靖	井上 壮				
専門委員長	総務委員長	平本 徹				
	競技運営委員長	小澤 清治				
	強化普及委員長	松尾 正弘				
	競技場管理委員長	鍵和田 実				
	財務委員長	木村 新一				

国民体育大会「スポーツ祭東京 2013」

天皇杯（男女総合） 6 位

皇后杯（女子総合） 15 位



少年男子 B110m 障害の金井 直（橘高校）が
14 秒 17 で優勝



少年男子 A110m 障害の古谷 拓夢（相洋高校）
が 14 秒 03 の大会タイ記録で優勝

入賞者一覧表

《 男 子 》

種 別	種 目	氏 名	所 属	記 録		順位
成 年	400mH	松 下 祐 樹	順天堂大学 4 年	49 秒 71 (PB)		3 位
	3000mSC	齋 藤 雄太郎	CREST	8 分 50 秒 10		7 位
	走高跳	高 張 広 海	日立 ICT	2m24		2 位
少 年 A	400m	林 大 生	相洋高校 3 年	48 秒 16		8 位
	110mH	古 谷 拓 夢	相洋高校 2 年	14 秒 03 (+0.2) GR		1 位
	走幅跳	佐久間 滉 大	法政大第二高校 2 年	7m36 (+0.7)		2 位
少 年 B	110mH	金 井 直	川崎市橘高校 1 年	14 秒 17 (-0.2)		1 位
少年共通	走高跳	稱 原 慎 平	川崎市橘高校 3 年	2m15		2 位
	棒高跳	岡 本 拓 巳	横浜清風高校 2 年	4m80		8 位
	円盤投	松 井 俊 樹	瀬谷西高校 2 年	47m40		4 位
少 年 B	4 × 100mR	持 地 将 克	川崎市橘高校 1 年	①	40 秒 59	7 位
成 年		本 間 圭 祐	城西大学 3 年	②		
成 年		荒 井 紘 輔	中央大学 2 年	③		
少 年 A		徳 山 黎	相洋高校 3 年	④		

《 女 子 》

種 別	種 目	氏 名	所 属	記 録	順位
成 年	400m	長谷川 美 里	日本体育大学 3 年	54 秒 59	3 位
	800m	岸 川 朱 里	長谷川体育施設	2 分 07 秒 79	4 位
	走高跳	加 藤 玲 奈	東海大学 3 年	1m72	5 位
少 年 B	1500m	佐 藤 成 葉	荏田高校 1 年	4 分 24 秒 34	4 位
	走幅跳	伊 藤 由莉愛	希望ヶ丘高校 1 年	5m58	8 位
少年共通	800m	加 藤 美 菜	白鵬女子高校 2 年	2 分 11 秒 15	7 位

PB：自己新

男 女 総 合 (天 皇 杯)			
第 1 位	東 京		146
第 2 位	静 岡		141
第 3 位	京 都		125
第 4 位	埼 玉		120.5
第 5 位	北 海 道		87
第 6 位	神 奈 川		86.33
第 7 位	兵 庫		82
第 8 位	千 葉		81.5

女 子 総 合 (皇 后 杯)		
第 1 位	東 京	81
第 2 位	京 都	72
	静 岡	72
第 4 位	埼 玉	64.5
第 5 位	群 馬	50.5
第 6 位	新 潟	50
第 7 位	兵 庫	49
第 8 位	大 阪	48
第 15 位	神 奈 川	33

高橋 靖さん秩父宮章受賞

高橋 靖さん（神奈川県陸上競技協会監事、秦野市陸上競技協会会長）が 10 月 5 日第 68 回国民体育大会の陸上競技が行われている味の素スタジアムにおいて、公益財団法人日本陸上競技連盟 横川 浩会長より表彰状が手渡された。

「第44回 ジュニアオリンピック陸上競技大会」

「第97回 日本陸上競技選手リレー競技大会」を開催しました

10月25日（金）～27日（日） 日産スタジアムにおいて開催されました。

26日は台風27号と28号の影響で開催も危ぶまれましたが無事終了することが出来ました。

ジュニアオリンピック優勝者

《 男 子 》

種別	種 目	氏 名	所 属	記 録
A 男子	100m	大 橋 尚 之	新潟：三条第一中	11 秒 12 (-0.8)
	200m	サブラウ A ハキム	東京：城西大城西中	21 秒 87 (-0.4)
	3000m	遠 藤 日 向	福島：郡山第四中	8 分 31 秒 26
	110mJH	八 代 貢 輝	愛知：AC 一宮	14 秒 93 (-1.8)
	走高跳	藤 平 尚 真	千葉：大貫中	1m86
	砲丸投	池 川 博 史	兵庫：鈴蘭台中	15m91
B 男子	100m	宮 本 大 輔	山口：周陽中	11 秒 22 (-2.3)
	1500m	名 合 治 紀	岡山：吉備中	4 分 07 秒 71
	110mH	井 上 大 海	東京：八王子打越中	14 秒 63 (-1.2)
	走幅跳	山 野 力	福井：丸岡中	6m58 (+0.4)
	砲丸投	下 浦 大 輝	奈良：山添中	15m34
C 男子	100m	寛 田 涼 介	埼玉：春日部豊野中	11 秒 33 (+0.7)
	1500m	大 類 康 靖	群馬：新里中	4 分 11 秒 94 GR
	走幅跳	宮 崎 諒 也	千葉：佐倉東中	6m20 (+0.1)
ABC 男子共通	ジャバリックロー	比 嘉 遥	沖縄：久辺中	81m11 GR
	円盤投	岩 戸 孝 平	兵庫：園田東中	43m42
	4 × 100mR	埼 玉	①加藤 寛悠 ②五十幡 亮汰 ③宮川 昌也 ④寛田 涼介	42 秒 59

《 女 子 》

種別	種 目	氏 名	所 属	記 録
A 女子	100m	大 平 穂乃佳	大分：坂ノ市中	12 秒 40 (+1.1)
	200m	掛 川 栞	愛知：栄中	24 秒 84 (-0.6)
	3000m	樺 沢 和佳奈	群馬：前橋富士見中	9 分 21 秒 17
	100mYH	田 中 陽夏莉	埼玉：朝霞第二中	13 秒 85 (+0.2) GR
	走高跳	波田野 瑠 花	福島：磐崎中	1m67
	砲丸投	尾 山 和 華	兵庫：志方中	12m70 GR
B 女子	100m	吉 野 史 織	滋賀：日吉中	12 秒 62 (-2.8)
	1500m	森 林 未 来	長崎：時津中	4 分 26 秒 94
	100mH	村 岡 柊 有	北海道：釧路景雲中	14 秒 29 (-2.0)
	走幅跳	東 祐 希	神奈川：王禅寺中央中	5m78 (-0.3)
	砲丸投	進 堂 り か	大阪：淀川中	13m79
C 女子	100m	臼 井 文 音	北海道：帯広南町中	12 秒 53 (-0.8)
	800m	山 口 光	青森：青森佃中	2 分 16 秒 79
	走幅跳	河 添 千 秋	愛媛：宇和島南中等	5m45 (-0.9)
ABC 男子共通	ジャバリックロー	龍 田 美 咲	徳島：鷺敷中	52m42
	円盤投	藤 原 千 春	三重：多気中	36m15
	4 × 100mR	愛 知	①山本 里菜 ②臼田 菜々美 ③生田 奈緒子 ④掛川 栞	47 秒 91

日本選手権リレー優勝者

《 男 子 》

種目	所属・氏名	記録
4×100m	早稲田大学 須田 隼人 九鬼 巧 竹下 裕希 欠畑 拓也	39秒40
4×400m	早稲田大学 木村 賢太 愛敬彰太郎 野澤 啓祐 佐藤 拓也	3分08秒64

《 女 子 》

種目	所属・氏名	記録
4×100m	東邦銀行 吉田真希子 千葉 麻美 青木沙弥佳 渡辺 真弓	45秒49
4×400m	浜松市立高校 大竹 佑奈 松本奈菜子 建部力オリ 杉浦はる香	3分40秒20

11月2日県高校駅伝競走大会（男子66回、女子30回）

山北町丹沢湖周回コース（男子7区間42.195km 女子5区間21.0975km）

男子は藤沢翔陵が2時間9分23秒で3年連続31度目、

女子は荻田が1時間8分23秒の大会新記録で15年ぶり10度目の優勝を飾った。

優勝した両校は、12月22日に京都市西京極競技場発着の全国大会に

男女6位までは、11月23日に栃木県佐野市の関東大会出場権を獲得した。

《男子総合成績》

① 藤沢翔陵	2時間09分23秒	(大川 秋澤 小町 大泉 佐野史 佐久間 小坂)
② 鎌倉学園	2時間11分47秒	(石井 安西 本間 大塚 鈴木 尼子 長屋)
③ 横 浜	2時間12分03秒	(佐藤 米山 平岡 滋野 石川 和田 榎本)
④ 相 洋	2時間13分10秒	(原 高橋竜 横井 越阪部 小川 鈴木 高橋佑)
⑤ 光明相模原	2時間13分58秒	(三田 小谷 岩崎 刈田 石原 高久 大戸)
⑥ 法 政 二	2時間15分11秒	(橋本 秦 川村 佐藤 須田 平野 阿部)

《男子区間記録》

1区 (10.0km)	大川 一成③	(藤沢翔陵)	30分35秒 (区間新)
2区 (3.0km)	秋澤 啓尚③	(藤沢翔陵)	8分25秒
3区 (8.1075km)	小町 昌矢③	(藤沢翔陵)	25分16秒 (区間新)
4区 (8.0875km)	大泉 奨②	(藤沢翔陵)	24分55秒 (区間新)
5区 (3.0km)	佐野 史亮③	(藤沢翔陵)	8分48秒
6区 (5.0km)	佐久間勇起②	(藤沢翔陵)	15分55秒
	尼子 風斗②	(鎌倉学園)	15分55秒
7区 (5.0km)	池田 隼③	(三浦学苑)	15分19秒

《女子総合成績》

① 荻 田	1時間08分23秒 (大会新)	(森田詩 佐藤 木下 河出 森田香)
② 白鷗女子	1時間09分03秒	(出水田 加藤 古谷 杉山 丹羽)
③ 三浦学苑	1時間12分50秒	(白瀬 遠藤 風間 牧野 内田)
④ 秦 野	1時間15分19秒	(寺内 平沢 並河 阿部 山口)
⑤ 元 石 川	1時間15分45秒	(赤坂 小山内 長野 藤巻 白井)
⑥ 西 湘	1時間15分52秒	(北村 後藤 戸川 青木 澤地)

《女子区間記録》

1区 (6.0km)	出水田真紀③	(白鷗女子)	19分20秒
2区 (4.0975km)	佐藤 成葉①	(荻 田)	13分22秒
	加藤 美菜②	(白鷗女子)	13分22秒
3区 (3.0km)	木下友梨菜①	(荻 田)	9分41秒 (区間タイ)
4区 (3.0km)	杉山 香南②	(白鷗女子)	9分43秒
5区 (5.0km)	森田 香織③	(荻 田)	16分05秒 (区間新)

「第29回 東日本女子駅伝競走大会」の神奈川チーム成績

11月10日(日)福島市信夫ヶ丘競技場をスタートし福島市内を通りフルーツラインを折り返す、

42.195kmを9区間に18都道府県の女性ランナーが熱きレースを繰り広げた。

神奈川県は3連覇を目指し序盤は2位3位と健闘したが総合8位となった。

《総合成績》

① 千 葉	2時間19分23秒
② 栃 木	2時間19分50秒
③ 長 野	2時間19分59秒
④ 静 岡	2時間20分11秒
⑤ 東 京	2時間20分22秒
⑥ 群 馬	2時間20分29秒
⑦ 埼 玉	2時間20分38秒
⑧ 神奈川	2時間21分00秒

《神奈川チーム個人成績》

1区 (6.0km)	赤坂 よもぎ (元石川高校3年)
2区 (4.0km)	阿部 ゆかり (パナソニック)
3区 (3.0km)	清水 萌衣乃 (逗子高校2年)
4区 (3.0km)	リズィーハげ芽衣 (金沢中学2年)
5区 (5.0875km)	鈴木 ひとみ (玉川大学3年)
6区 (4.1075km)	白瀬 侑子 (三浦学苑高校3年)
7区 (4.0km)	内田 佳奈 (三浦学苑高校1年)
8区 (3.0km)	朝比奈亜妃乃 (西中原中学2年)
9区 (10.0km)	加藤 麻美 (パナソニック)

総合・区間

②	②
③	⑦
③	③
②	④
②	④
④	⑩
⑥	⑪
⑦	⑨
⑧	⑥

11月19日県中学校駅伝競走大会（男子35回、女子28回）

横浜八景島・海の公園周回コース（男子6区間19.95km 女子5区間12.48km）

男子は宮前平が1時間2分14秒の大会新記録で、女子は金沢が42分38秒でそろって初優勝を飾った。

優勝した両校は、12月15日に山口県セナーパークで開催されるの全国大会に

男女上位4校は、12月1日に栃木・那須野が原公園で行われる関東大会に出場する

《男子総合成績》

① 宮前平	1時間02分14秒（大会新）	（大久保 神林 岩見 石鍋 大木 渡部）
② 西中原	1時間03分36秒	（部谷 井澤 一寸木 濱野 林 舘田）
③ 大津	1時間03分53秒	（小野田 横山 藤ヶ崎 加藤 佐藤 浅井）
④ 横浜田奈	1時間03分53秒	（伊藤 張替 坂元 城所 徳竹 中禮）

《男子区間記録》

1区（3.0km）	笹井 南斗③	（光 丘）	9分09秒	
2区（3.39km）	神林 勇太③	（宮前平）	9分55秒	（区間新）
3区（3.39km）	鈴木 大海③	（円 蔵）	10分26秒	
4区（3.39km）	加藤 直人③	（大 津）	10分17秒	（区間新）
5区（3.39km）	大木 峻矢③	（宮前平）	10分56秒	
6区（3.39km）	渡部 侑輝③	（宮前平）	10分22秒	

《女子総合成績》

① 金 沢	42分38秒	（鈴木 湊上 矢倉 黄川田 リズィー・ルナ）
② 向 丘	43分18秒	（平井 石部 齊藤 四宮 桜井）
③ 西中原	43分21秒	（市川 茅野 渡辺 横田 朝比奈）
④ 横浜田奈	43分54秒	（前田 倉地 川上 金尾 前田）

《女子区間記録》

1区（3.0km）	大谷菜南子②	（白 鳥）	10分06秒
2区（2.03km）	湊上 真衣②	（金 沢）	6分47秒
3区（2.03km）	川上 ゆい③	（横浜田奈）	7分01秒
4区（2.03km）	武石 朱未③	（池 上）	7分02秒
5区（3.39km）	リズィー・ルナ芽衣②	（金 沢）	11分18秒

「第5回 横浜国際女子マラソン大会」

来年のアジア大会（仁川＝韓国）代表選考会を兼ねた横浜国際女子マラソンは17日、横浜市山下公園をスタート・フィニッシュするコースで行われ、ナルビナ・マヨロワ（ロシア）が2時間25分55秒で初優勝した。

日本勢最高の2位には2011年世界選手権代表の野尻あずさ（ヒラツカ・リース）が2時間28分47秒で入った。

① アルビナ・マヨロワ（ロシア）	2時間25分55秒
② 野尻 あずさ（ヒラツカ・リース）	2時間28分47秒
③ ジェシカ・アウグスト（ポルトガル）	2時間29分11秒
④ 那須川 瑞穂（エバー・サルインターナショナル）	2時間30分27秒
⑤ オンゴレ・フィレス（ケニア）	2時間31分21秒
⑥ レネ・カルマー（南アフリカ）	2時間32分39秒
⑦ フレヤ・ロス（英国）	2時間35分19秒
⑧ 樋口 紀子（ワコール）	2時間37分56秒

後期 主要競技会等の日程

<県内>

1月2～3日	第90回	東京～箱根間 関東大学対抗駅伝競走大会
		第1日目 東京：大手町～箱根：芦ノ湖 5区間 108.0km
		第2日目 箱根：芦ノ湖～東京：大手町 5区間 109.9km
2月 2日	第67回	神奈川県実業団駅伝・ロードレース大会
		（山北町丹沢湖周辺コース 5区間 30.2km）
2月 9日	第68回	市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」
		（秦野～相模湖間 7区間 51.5km）

<日本陸上競技連盟主催>

12月15日	第21回	全国中学校駅伝競走大会(山口県)	
12月22日	第64回	男子全国高等学校駅伝競走大会(京都)	藤沢翔陵高校(3年連続32度目)
	第25回	女子全国高等学校駅伝競走大会(京都)	荏田高校(15年ぶり10度目)
		南関東ブロック選出	白鵬女子高校(3年連続10度目)
1月12日	第32回	全国都道府県対抗女子駅伝競走大会(京都)	
1月19日	第19回	全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(広島)	

◇ 日本陸連公認審判員 B 級資格取得講習会

日 時 : 平成 26 年 3 月 1 日(土) もしくは 2 日(日)

9 時 30 分受付開始 10 時～ 16 時(予定)

会 場 : 会館 とどろき(予定)

受講資格 : ①満 18 歳～満 65 歳 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

〔但し、日本学生連合登録予定者を除く〕

②平成 26 年以降、神奈川県各郡市に必ず登録可能な者

③平成 26 年以降、神奈川陸協または各郡市陸協が主催・主管する競技会に審判員として出席可能な者

受 講 料 : 4,000 円(マーク・バッチ・手帳・資料代)

携 行 品 : ①最近の顔写真(審判手帳・審判登録用)2 葉;縦 4.5cm × 横 3.5cm
(2 葉とも裏面に氏名を記入)

②筆記用具及びルールブックとハンドブック(出来るだけ用意してください)

◇ 郡市審判講習会日程(公認審判員は毎年必ず受講しましょう !!)

3 月 15 日(土) ～ 30(日)

※各講習会は原則として対象郡市の審判資格保有者が受講できます。

他郡市の審判員が受講したい場合は資料準備等がありますので必ず事前に郡市陸協窓口にご確認ください。郡市陸協窓口は県陸協事務局にお問合せください。

<編集後記>

神奈川陸上競技協会 広報誌について

1. 創刊の趣旨

神奈川陸上競技協会は、本年 4 月 1 日付で一般財団法人としてスタートしました。これに伴い競技団体として神奈川県の陸上競技の振興と普及、競技力の向上を図るために今まで以上に様々な事業活動を主体的に展開していく必要性が高まっています。このような事業の一環として本協会の活動内容や関連する諸情報を、スポーツを愛好する県民の皆様に広く広報することで、相互の情報交換や交流の場としての活用や本協会の諸活動への理解と協力が得られることを創刊の趣旨として、広報誌を発行する次第です。

2. 発行回数

年 2 回(年度初め 5 月 中間期 11 月)

3. 構成、内容について

- ・本協会に関する諸情報
- ・競技会の開催予定・結果など
- ・各郡市陸協の話題 など

各郡市のトピックスも多く掲載していきたいので、総務委員会広報部までお問合せください。